

令和 6 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ来さまい館、むつ下北観光物産館、むつ市イベント広場	
指定管理者	団体名	むつ商工会議所
	代表者	会頭 内田 大輔
	所在地	むつ市小川町 2 丁目 1 1 - 4
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 3 1 日 (5 年間)	
指定管理業務の概要	<p>(1) むつ来さまい館</p> <p>ア 産業の振興、中心市街地の活性化及び市民等の交流促進に関する事業。</p> <p>イ 地域振興に関する資料の収集、保管及び利用並びに情報の発信に関すること。</p> <p>ウ 館の施設提供に関すること。</p> <p>エ アからウまでに掲げるもののほか、館の設置目的を達成するために必要な業務。</p> <p>(2) むつ下北観光物産館</p> <p>ア 観光施設の案内、宿泊施設の紹介その他の観光情報の収集及び提供に関すること。</p> <p>イ 地場製品の展示並びに情報の収集及び提供を行うこと。</p> <p>ウ その他観光、物産充実振興上必要な業務。</p> <p>(3) むつ市イベント広場</p> <p>ア 市民の文化活動、休憩、集会等の用に供すること。</p> <p>(4) 上記のほか、各施設に共通すること。</p> <p>ア 各施設の使用許可または使用の制限に関する業務。</p> <p>イ 各施設の使用に係る利用料金収受に関する業務。</p> <p>ウ 各施設の維持及び修繕に関する業務。</p> <p>エ その他、各施設の管理上必要な業務。</p>	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

(単位：千円)

区 分	年 間 計 画 額 ①	上 半 期 実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	71,193	33,757	△37,436
うち利用料金額	12,900	4,975	△7,925
うち指定管理料	55,300	27,650	△27,650
支出合計 (B)	71,193	28,945	△42,248
うち人件費	26,457	12,595	△13,862
収支差 (A-B)	0	4,812	4,812
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	むつ来さまい館	70,000	30,538	△39,462
	むつ下北観光物産館	22,500	7,632	△14,868
	むつ市イベント広場	50,000	7,501	△42,499
<p>利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットの回数を月に2回に増やしてほしい。 【対応状況：フリマ出店者にもアンケートを実施し、今後の開催について意見や要望を聴取したうえで検討していきたいと思えます。】 ・物産館の湯沸室のお湯が出るようにしてほしい。(給湯器を)いつ直すのですか？ 【対応状況：近年、会議や講演会などでもペットボトルの持ち込みが主流となり、湯沸室の使用頻度が低いことから、修繕の優先順位が低くなっていましたが、ご要望を踏まえ今後検討していきたいと思えます。】 ・会場があつすぎる。(物産館) 【対応状況：会場室内に温度調節の仕方などを掲示し利用者にもわかりやすくしています。 冷暖房が切り換え式となっているので、切り換え後時期には天候により冷房・暖房の要望にお応えできないことがあり、(特に梅雨時期)ご不便をおかけしています。】 ・貸出物品が無料で使用できるので便利。 ・駐車場が狭い。 				

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事業名	利用者数	収 入	支 出
フリーマーケット	1,200	81	0
内訳	① 4月29日実施	300 (出店 21)	21
	② 5月26日実施	300 (出店 21)	21
	③ 6月24日実施	300 (出店 19)	19
	④ 8月25日実施	300 (出店 20)	20
	※7月、9月は開催中止		
第7回ふれあいフェスタ&ハンドメイドマルシェ	580	48	276
飲食楽祭ビアガーデン	800	19	159
夏休み体験館	488	8	60
ハロウィンイベント	0	0	29
音楽活動支援事業(随時)	6	18	0
路線バス乗車券販売(随時)	400	51	0
むつまちづくり(株)連携事業	65	0	68

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げるこ
とが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。 (具体的な事実等：施設特別清掃による休館や館内設備の業者点検などは時期や時間帯を考慮し、利用者に影響の少ないかたちで実施しました。)	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。 (具体的な事実等：予約時に申請手続きの流れを確認することで、円滑に行われました。)	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。 (具体的な事実等：施設利用者への対応についてクレームがあった。 職員間で対応を統一し、どなたにも快適に利用いただけるよう努めたい。)	C	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。 (具体的な事実等：アンケートを実施しているが、主に設備面では寄せられた要望に 応えられていないと感じています。)	C	C
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。 (具体的な事実等：貸出物品の充実を図り、利用者の要望にこたえられるよう努めました。)	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。 (具体的な事実等：社会科見学等で来館した際（見学時）の対応について案内を作成・小学校へ配布してPRし、利用促進に努めました。)	A	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。 (具体的な事実等：市民交流の場として賑わいの創生、施設利用を促進することを目的に物販、親子向けの催事など各種事業の開催に努めました。)	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。 (具体的な事実等：机や椅子など備品の補修は職員が適宜行い、利用者が快適に使用できるように努めました。)	B	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。 (具体的な事実等：利用者間の調整や、代替施設の提案等、積極的に行いました。)	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。 (具体的な事実等：外部研修等へ参加する機会は特にありませんでしたが、日常的に所属長への報告・連絡・相談のもと、職員間の引継ぎや指導により各々が責任をもって職務にあたりました。)	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		

①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。 (具体的な事実等：貸室が混雑する日は勤務を調整する、物産館勤務職員に応援を頼むなど利用者に影響のないよう努めました。)	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。 (具体的な事実等：高額となる修繕については、所管課と協議のうえ計画的に実施できるよう調整し施設管理に努めました。軽微な修繕については、職員で対応できるものは適宜行い、経費の削減に努めました。)	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。 (具体的な事実等：時間外勤務、休暇の取得については所属長へ許可を得て職員間で偏りのでないよう勤務を調整し、適正に管理しています。)	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。 (具体的な事実等：利用に係る手続きの流れを申請時に説明し、料金收受まで適正に行われました。施設管理における経費支出(物品購入、施設修繕等)はその都度起案し、所属長決裁のもと適正に行われています。)	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。 (具体的な事実等：要望があれば施設の空き状況を一覧にまとめ提供し、利用を検討いただけるよう柔軟に対応しました。利用内容により適正な貸室規模、借用時間、使用備品などの提案を行ない、より快適に施設を利用いただけるよう調整に努めました。)	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。 (具体的な事実等：施設内を見回り破損や物品の紛失がないかどうか確認しました。不良のある備品については速やかに利用を中止し、事故防止に努めました。)	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。 (具体的な事実等：防犯管理マニュアルを作成して災害時の対応など、連絡方法や各自の役割を確認し、職員の見えるところに掲示し、迅速に対応できるよう努めました。)	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。 (具体的な事実等：知り得た個人情報については、適切に管理し、廃棄時にはシュレッダーにかけるなど処理方法にも配慮しました。)	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

会場の確認や事前リハーサル、ネットワーク環境の確認など、利用者が安心かつ円滑な利用ができるよう、要望に柔軟に対応しました。

また、来さまい館見学時の対応について見直す機会を設け、関係団体に協力をお願いしてジオパークやエネルギーについてより専門的な対応が可能となり、施設を学習活動にも利用いただけるよう小学校へPRを行いました。

利用者への職員の対応についてクレームがありました。今後は対応を職員間で一貫性のあるものとする、公共施設利用時のマナーなどをあらかじめ利用者から見やすいところに掲示し協力をお願いするなど、利用されるすべての方が気持ちよく過ごしていただけるよう配慮に努めます。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

上半期を終了し、概ね計画どおり推移していると評価しているが、収支の状況及び施設利用の状況において、収入は約4割程度、施設の利用人数は約3割程度に留まっていた。

利用人数においては、ジオパーク全国大会下北大会の波及効果を見込んでいたものの、開催期間中悪天候であったことや企画していた自主事業の開催が下半期にずれ込んだことが要因と分析している。今後開催予定の下半期の各種イベントの集客に期待したい。

また、C評価とした利用者意見を反映する取組については、電気料の高騰や人件費の上昇に伴う委託料の増加により計画額を超えた支出になっており、指定管理者の施設運営が厳しいため、速やかに利用者の要望に応えられていないものと認識している。このため、定期的に市と協議を行い、予算の範囲内で実施できるものを取捨選択し、利用者が快適に利用できる体制を整えていきたい。